

テレビスタンド

# SU-32DZ/36DZ

## 取扱説明書

ご購入いただきありがとうございます。

**警告** 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

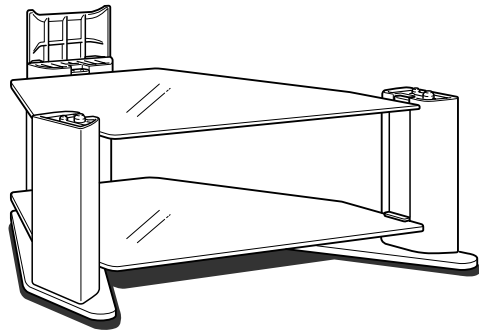
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテレビスタンドは、下記のソニー製のカラーテレビ専用です。ガラスには、BSデジタルチューナーやビデオデッキなどを設置するよう設計されています。

対応テレビ

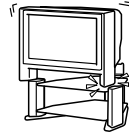
| テレビスタンド | SU-32DZ                  | SU-36DZ                  |
|---------|--------------------------|--------------------------|
| テレビ     | KV-32DZ900<br>KV-32DZ950 | KV-36DZ900<br>KV-36DZ950 |

Sony Corporation © 2000 Printed in Japan

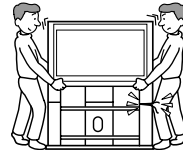


## テレビを設置するときのご注意

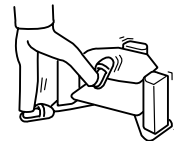
● テレビの脚をガラスに仮置きしたり、載せたりしないでください。



● テレビとテレビスタンドの支柱に足をはさみこまないようご注意ください。



● ガラスを踏み付けないでください。



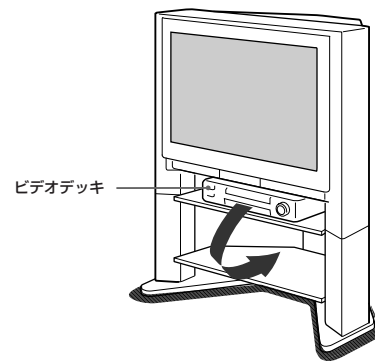
## 使用上のご注意

● 組み立てるときや、テレビやビデオ機器などを設置するとき、ガラスに手をつけて体重をかけたり、ドライバーなど硬いものを落としたりしないようご注意ください。

● 設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によってはテレビスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。  
畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く  
直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない  
高温多湿の場所や屋外に置かない

● 美しい状態でお使いいただくためときどき柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はテレビスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

ビデオデッキなど一部の機器をテレビスタンドの上段などテレビに近い場所に設置すると、テレビがビデオデッキから干渉を受けやすくなるため、画像の乱れや画面上のノイズの原因になることがあります。このときは、ビデオデッキなどをスタンドの下段に設置してください。

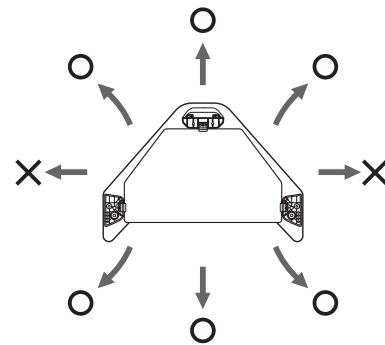


## テレビスタンドを動かすには

このテレビスタンドは、↑で示した方向に動かせます。左右(×で示した方向)には、動きません。無理に動かそうとすると、床面を傷つけたり、転倒の原因になることがあります。

**ご注意**

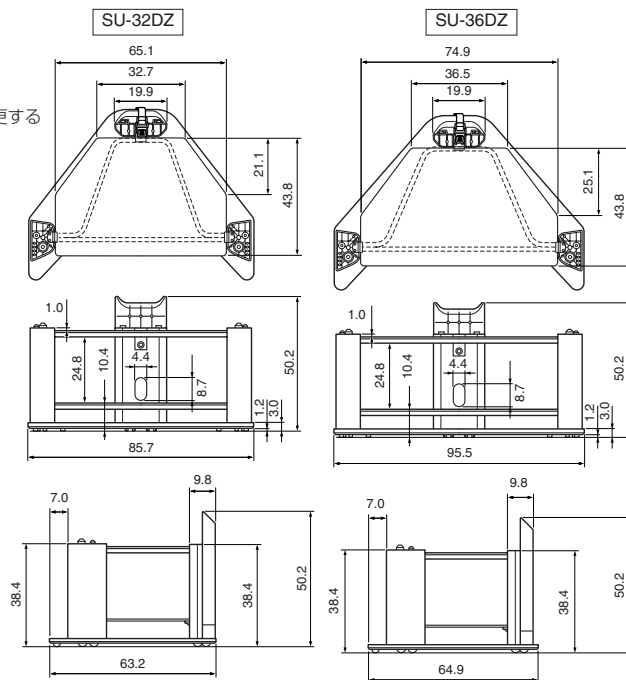
- テレビスタンドを動かすときは、支柱部分を持つようにしてください。ガラスの部分を持つたり、無理に動かそうとすると、ガラスを破損したり、転倒し、けがの原因になることがあります。
- テレビスタンドを床面に段差があるところに動かすときは、いったん固定ベルトをはずしてテレビを降ろしてから動かしてください。
- テレビスタンドを動かすときは、手足を底板の下にはさんだり、キャストで踏みだらないようご注意ください。



## 主な仕様

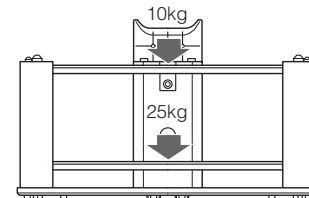
単位: cm  
質量: SU-32DZ: 15.6kg  
SU-36DZ: 16.8kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



### ガラス面の積載量についてのご注意

それぞれのガラスには、図に示す質量以上のものを載せないでください。ガラスを破損するおそれがあります。なお、このテレビスタンドの総積載量は、各サイズのテレビの質量とガラス面に載せる質量の合計になります。SU-32DZは、KV-32DZ900/KV-32DZ950 約68.8kg+35kgです。SU-36DZは、KV-36DZ900/KV-36DZ950 約89.8kg+35kgです。



## 警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

**警告表示の意味**  
取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

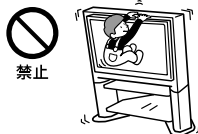
**注意** この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒により死亡や大けがの原因となります。

### テレビスタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がらない

テレビが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。



### ガラスの上に乗ったり、ガラスの間に入って遊ばない

お子様がガラスの上に乗ったり、ガラスの間に入って遊んだりすると、ガラスが割れたり、テレビが倒れて、大けがや死亡の原因となります。



### テレビや収納機器のコードをはさまないようにする

- テレビなどをテレビスタンドに載せるとき、電源コードをはさみこまないようにする。
- テレビスタンドを動かすとき、キャストで電源コードを踏まないようにする。コードに傷がついて火災や感電の原因となります。



## 注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

### 指定のテレビ機器以外のものを載せない

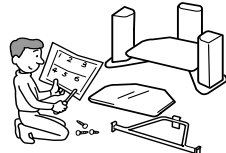
- このテレビスタンドは指定のテレビ専用です。指定外のテレビや重い物を載せると、すべて落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
- 指定の機器以外のもの(陶器や花瓶など)は置かないでください。

### 載せる機器の総質量は、指定の質量を超えないようにする

指定の質量を超えると、ガラスが割れて、テレビなどを壊すおそれがあります。

### 組み立ては、組み立て手順に従ってしっかり組み立てる

ネジがゆるんでいたたり抜けていますと、テレビスタンドが歪み、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。特に上・下ガラス用金具はガラスの落下防止のため必ず取り付けてください。



### テレビを固定する

テレビスタンドに付属の固定ベルトでテレビの転倒を防いでください。テレビを固定させないと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



### ガラスに強い衝撃を与えない

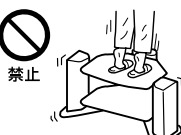
テレビスタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れますと、破片が飛び散りけがの原因となりますので下記のことをお守りください。

- 物をぶつける、先端の尖った物を落とすなど、強い衝撃を与えない。
- 鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。
- デジタルチューナーやビデオデッキなどを設置時にガラスの端面にぶつけない。
- 掃除機で床面をすべらせて下ガラスの前面に当てない。



### 踏み台にしない

倒れたり、落ちたり、ガラスが割れたりして、けがの原因となることがあります。



### 過熱した鍋、湯沸しなど熱いものを置かない

ガラスが割れ、けがの原因となることがあります。



ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35  
お問い合わせはお客様相談センターへ  
● ナビダイヤル ..... 0570-00-3311 受付時間: 月~金 9:00~20:00  
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)  
● 携帯電話・PHSでのご利用は ..... 03-5448-3311 土・日・祝日 9:00~17:00  
● Fax ..... 0466-31-2595

# 手順1：組み立てに必要な部品を確認する

◀ 矢印は正面方向を示します。

- 組み立てる前に⓪ドライバーをご用意ください。
- 金属製のフレームやガラスなどを取り付けるときは、けがをしないよう充分ご注意ください。

**上ガラス (1枚)**  
白いフィルムの面が下面です。

**上ガラス用フレーム (1本)**  
上ガラス用フレームには、ガラス滑り止め用のクッションが付いています。  
10mm丸形クッション: 5個  
5x39mmクッション: 1個

**下ガラス (ヒンジ付き) (1枚)**  
白いフィルムの面が下面です。

**下ガラス用フレーム (1本)**  
下ガラス用フレームには、ガラス滑り止め用のクッションが付いています。  
10mm丸形クッション  
SU-32DZ: 4個  
SU-36DZ: 5個

**支柱 (L) (1本)**  
ネジ (大)

**支柱 (L) カバー (1枚)**

**底板 (1枚)**

ワッシャーヘッドネジ  
上ガラス用金具  
後ろ支柱 (1本)  
固定ベルトが付いています。  
後ろ支柱カバー (1枚)  
ネジ (小)  
ワッシャーヘッドネジ  
ネジ (大)  
支柱 (R) カバー (1枚)  
支柱 (R) (1本)  
ネジ (大)

ワッシャーヘッドネジ  
下ガラス用金具  
ネジ (大)  
支柱 (R) カバー (1枚)  
支柱 (R) (1本)  
ネジ (大)

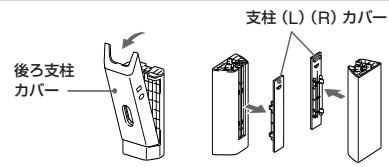
底板下面には、移動用の  
キャスト (中) 回転キャスト  
回転キャスト : 2個  
キャスト (中) : 8個  
キャスト (小) : 4個  
が付いています。  
キャスト (小)

| 名称      | 数量 | 名称                      | 数量 |
|---------|----|-------------------------|----|
| 上ガラス用金具 | 3  | ネジ (大)                  | 9  |
| クッション   | 2  | ⓪ 5x40 mm<br>ネジ (小)     | 2  |
| 下ガラス用金具 | 2  | ⓪ 4x16 mm<br>ワッシャーヘッドネジ | 11 |
| クッション   | 2  | ⓪ 4x16 mm               |    |

イラストは、SU-36DZを使っています。

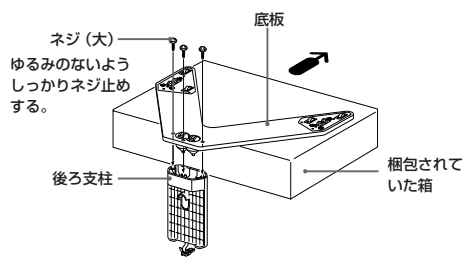
# 手順2：底板に支柱を取り付ける

## 1 後ろ支柱と支柱 (L) (R) のカバーをそれぞれはめます。



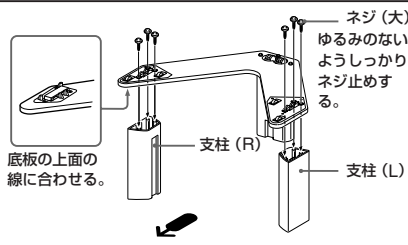
## 2 底板 (キャスト付き) を、キャストの見える面を上にして、後ろ支柱をはめ込み、ネジ (大) 3本でネジ止めます。

梱包されていた箱などを利用すると、本機や床面を傷つせず、また安定させた状態で作業することができます。より強度を確保するため、ネジを締め付けるには強い力を要します。ゆるみのないよう確実にネジ止めを行ってください。



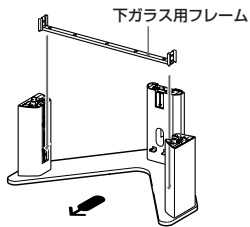
## 3 支柱 (L) (R) を底板の線に合わせてネジ (大) 6本でそれぞれネジ止めます。

支柱 (L) または (R) をネジ止めするときも、梱包されていた箱などを利用すると、安定し、作業しやすくなります。ネジ止めたネジにゆるみのないことを確認してください。



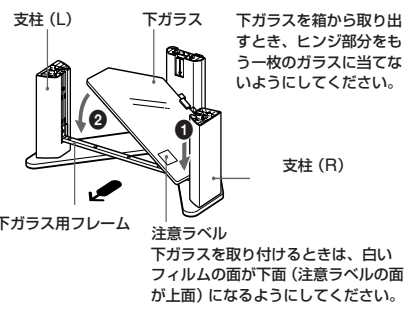
# 手順3：下ガラスを取り付ける

## 1 底板 (キャスト付き) のキャストを下にして、下ガラス用フレームを支柱 (L) (R) の下段の取り付け位置まで、溝に沿って入れる。



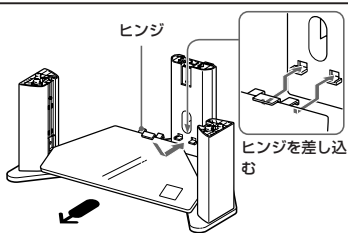
## 2 下ガラスを載せる。

- ① 下ガラス (ヒンジ付き) を左右傾けて持ち、下に持っている方の下ガラスの前方を下ガラス用フレームと、支柱 (L) または (R) のどちらかの角に静かに当てつける。ガラスの端で支柱 (L) (R) を傷つけないように注意してください。
- ② 下ガラスの上に持っていた方も、下ガラス用フレームにゆっくり載せる。上に持っている側のガラスの端で、支柱の内側を傷つけないよう注意してください。



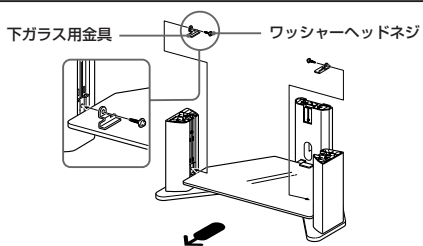
## 3 下ガラスの後方を持ち上げて、下ガラスのヒンジを後ろ支柱の穴に差し込む。

**ご注意**  
ガラスに衝撃を与えると、ガラスが破損してけがの原因になることがあります。必ず下ガラスを持ち上げて作業してください。



## 4 下ガラス用金具を支柱 (L) (R) にそれぞれ取り付け、ワッシャーヘッドネジでネジ止めます。

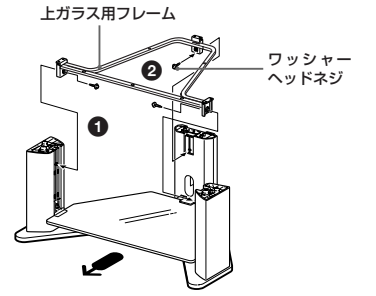
下ガラス用金具には、ガラス割れ防止用のクッションが付いています。



# 手順4：上ガラスを取り付ける

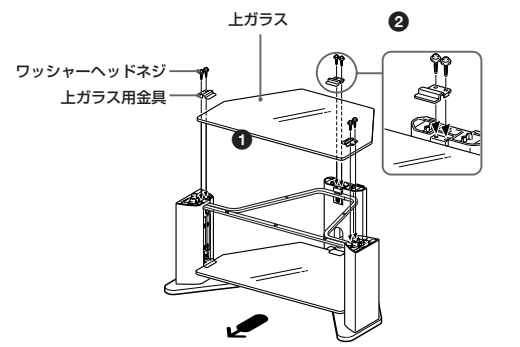
## 1 上ガラス用フレームを取り付ける。

- ① 上ガラス用フレームを後ろ支柱、支柱 (L) (R) の上段の取り付け位置に入れる。上ガラス用フレームが、どうしても入らないときは、いったん下ガラス用金具のネジをゆるめると、上ガラス用フレームを入れやすくなります。その後、必ずネジ止めをやり直してください。
- ② 上ガラス用フレームを後ろ支柱、支柱 (L) (R) に、ワッシャーヘッドネジでそれぞれネジ止めます。



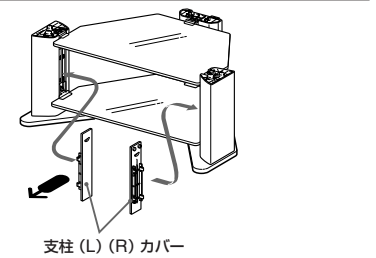
## 2 上ガラスを載せる。

- ① 上ガラスを後ろ支柱に、すき間なく当てつけて上ガラス用フレームにのせる。上ガラスを取り付けるときは、白いフィルムの面が下面になるようにしてください。
- ② 上ガラス用金具を上ガラス用フレームに、ワッシャーヘッドネジ6本でそれぞれネジ止めます。上ガラス用金具には、ガラス割れ防止用のクッションが付いています。



## 3 支柱 (L) (R) のカバーをツメ部が上になるよう内側からはめ込む。

取り付けたすべてのネジのゆるみや、後ろ支柱カバー用のネジ (小) 2本以外に残ったネジがないことを確認してください。

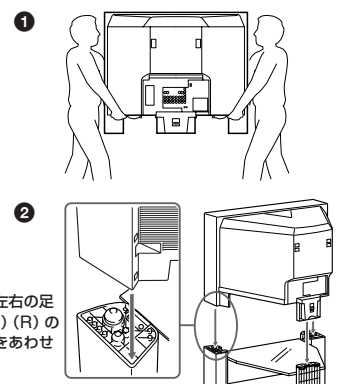


# 手順5：テレビを置く

## 1 テレビを置く。

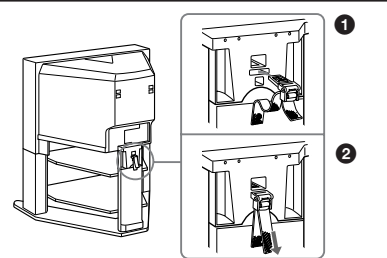
- ① テレビは必ず2人以上でテレビ前部をかかえるようにして運ぶ。
- ② 電源コードなどはさまないように注意しながら、テレビスタンドに置く。

**警告**  
• テレビをテレビスタンドの支柱に載せるとき、手足や服をさまないようにご注意ください。  
• テレビを支柱以外のところに、仮置きしないでください。



## 2 転倒防止のためのベルトを取り付ける。

- ① テレビスタンドに付属の固定ベルトのバックルを、テレビの差し込み口にカチッと音がするまで差し込む。
- ② 固定ベルトがゆるまないよう、ベルトを引いて長さを調節する。

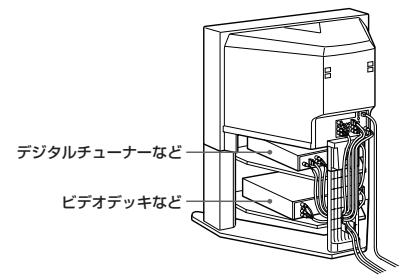


# 手順6：ビデオ機器などを設置する

## ビデオ機器などを設置する。

上段にはデジタルチューナーなどを、下段にはビデオデッキなどを設置する。ケーブルは後ろ支柱の穴を通して配線し、テレビと接続する。

**ご注意**  
テレビスタンドの上段にビデオデッキなどの機器を置かないでください。ビデオの再生/録画時にビデオヘッドが干渉して、テレビの画像が乱れたり、縦縞状のノイズが出たりすることがあります。

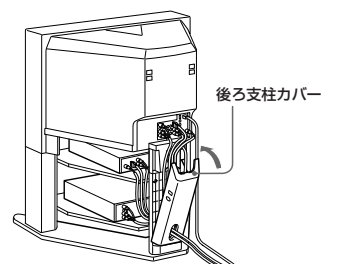


# 手順7：後ろ支柱カバーを取り付ける

## 1 後ろ支柱カバーの下方を後ろ支柱に差し込んでから上方をかぶせる。

設置した機器の電源ケーブルは後ろ支柱と後ろ支柱カバーの穴から出して処理してください。

**ご注意**  
電源ケーブルは、たばねると発熱することがあります。他のケーブルと一緒にカバー内ではたばねないでください。



## 2 後ろ支柱カバーを後ろ支柱に、ネジ (小) 2本でネジ止めます。

